



乳がん検診について

平成25年の広島県でのがん罹患数は23,953件。

女性では乳がんが最も多く、2,037件となっています。

がんを初期の段階で見つけるがん検診は、死亡率を下げるのに有効です。

早期発見が大切。
乳がん検診を
定期的に
受けましょう。



今月の回答者

JA広島総合病院
健康管理センター

秋元保健師

乳がん検診

視触診

医師が目で乳房を観察してくぼみがないか、手で触ってしこりがないか、わきの下を触ってリンパ節の腫れなどがないか、乳頭から分泌物がないかなどを観察します。ある程度の大きさになったしこりは発見できますが、逆に小さいものは発見が難しいことがあります。

乳腺エコー

超音波を使って乳房の断面図を見ます。視触診では発見できないしこりを見つけ出すことができます。放射線被ばくを避けたい妊娠中の方、若年の方、高濃度乳房*（デンスブレスト）の方などに適しています。

*高濃度乳房とは、乳房の中の乳腺が多く、マンモグラフィーで乳房が白く写るタイプの乳房のこと。マンモグラフィーでは乳がんなどの乳房の病気も白く写ることが多く、高濃度乳房では白く写る乳腺の陰に病気が隠れることがあり、がんが見つかりにくいと考えられています。



マンモグラフィー撮影

乳房専用のX線撮影のことをいいます。視触診だけでは発見できない小さなしこりや、しこりになる前の石灰化した小さな乳がんの発見に有効な検査法で、乳がんの早期発見に欠かせません。乳房をプラスチックの板で挟んで平たくし、乳房専用のX線装置で乳房全体を撮影します。妊娠中の方には適しません。また乳房を圧迫しますので痛みを感じる場合もあります。乳腺が発達している若い人の場合は、乳がんを判別しにくい場合があります。



自己検診

乳がんは自分で発見できるがんの1つです。月に1度は自己検診を行いましょう。閉経前の方は、乳房の張りの少ない月経終了後1週間くらいの間に行いましょう。閉経後の方は毎月、日にちを決めて行きましょう。

- 鏡に向かい、乳房の変形や左右差がないかチェックします。



- 仰向けになって外側から内側へ指の腹を滑らせ、しこりの有無をチェックします。親指以外の四本の指をそろえて、指の腹で触っていきます。鎖骨の下から乳房の下方まで、両方の脇のところまで広い範囲で触りましょう。



乳がん検診 J.M.S.(ジャパン・マンモグラフィー・サンデー)のお知らせ

子育て、介護、仕事など多忙な平日を過ごす女性のために、10月の第3日曜日に乳がん検査が受けられます。

■日時：平成30年10月21日(日) 8時30分～受付開始【完全予約制】

■場所：JA広島総合病院 健康管理センター

■検査内容・費用：

- マンモグラフィー + 乳腺エコー 費用 8,000円(税込)
- マンモグラフィーのみ 費用 5,000円(税込)

※医師による視触診はありません

■対象者：35歳以上の方

- その他
 - 市町村等が発行している乳がん検診無料クーポン券の利用はできません
 - 完全予約制で各検査枠に限りがあります
 - 定員数に達し次第、予約を締め切らせていただきます
 - 結果は後日郵送にて通知します
 - 授乳中、妊娠中の方の受診はお受けできません

当施設での
検査についての
お問い合わせ

JA広島総合病院 健康管理センター
Tel0829-36-3111(代)(受付時間：平日13時～16時)

【参考】厚生労働省 HP <https://www.mhlw.go.jp>
認定NPO法人 J-posh HP <http://www.j-posh.com/>
公益財団法人 日本対がん協会 HP <https://www.jcancer.jp/>

公益財団法人大阪府保健医療財団大阪がん循環器病予防センター HP <http://www.osaka-ganjun.jp/>
広島県地域がん登録システム事業 HP http://www.hiroshima.med.or.jp/cancer_registry/index.html